

満天 LETTER

～2011年4月号～

写真：表彰式と1位となった選手たち



目次

1 はじめに	2
2 近況報告	2
3 今年度スケジュール	3
4 関西インカレ展望	4
ロードの部	4
短短	5
短長、ミドル	6
ロング、ウォーク	7

跳躍	8
投擲、混成	9
女子短距離、フィールド	11
女子ミドル、ロング	13
5 主な試合結果	14
6 近日中の試合	19
7 次号発行予定	19
8 その他	20

1.はじめに

この4月から新たに満天レター編集係を担当することになった工学部3回生の松崎と高橋です。今後月に一度のペースで、年に一度の満天下ではお伝えできない私たちの活動状況を報告させていただきたいと思います。つたない文章ではありますがどうぞよろしくお願い致します。

2.近況報告

新シーズンが始まり最初の対校戦である大阪インカレや阪大が主管を務める大阪三大学が行われました。冬季練習からの移行がまだ完全にはできておらず、怪我人も多いのが現状でチームとしての課題が浮き彫りになる結果となりました。私たちはこの結果を重く受け止め、関西インカレでは一部昇格を成し遂げてOB・OGの皆さんに良いご報告ができるように気を引き締めて日々練習に励んでおります。ですので、今後とも変わらぬご支援・ご声援のほど、よろしくお願い致します。

3.今年度のスケジュール

2011 年度

日程	行事	場所
4/5 (火) , 6 (水)	大阪インカレ	長居第2陸上競技場
4/9 (土)	サークルオリエンテーション 陸上部交流会	阪大豊中キャンパス
4/16 (土)	大阪三大学対校戦	金岡公園陸上競技場
4/28 (木)	関西インカレ・ロードの部	長居公園周回
4/30 (土)	新入生歓迎コンパ	阪大豊中キャンパス
5/12 (木) ~15 (日)	関西インカレ	長居第2陸上競技場
5/28 (土)	阪名戦	知多陸上競技場
6/10 (金) , 11 (土)	第1回学連記録会	西京極総合運動公園陸上競技場
6/17 (金) ~19 (日)	日本学生個人選手権	平塚競技場
7/15 (金) ~17 (日)	西日本インカレ	岐阜メモリアルセンター長良川競技場
7/23 (土) , 24 (日)	七帝戦	札幌厚別公園競技場
8/12 (金) , 13 (土)	第2回学連競技会	長居第2陸上競技場
8月中旬	近畿地区国立大学体育大会	未定
8/28 (木)	阪神四大学対校戦	ベイコム陸上競技場
8月下旬~9月上旬	夏合宿	長野・菅平
9/9 (金) ~11 (日)	全日本インカレ	熊本県民総合運動公園陸上競技場
9/24 (土)	関西学生女子駅伝	神戸しあわせの村
10/1 (土)	びわ湖駅伝予選会	皇子山総合運動公園陸上競技場
10/23 (日)	京阪神三大学新人戦	山城総合運動公園陸上競技場
10/27 (木) ~30 (日)	関西学生学年別選手権	長居第2陸上競技場
未定	阪大陸上部OB戦	阪大吹田キャンパス
11/19 (土)	びわ湖大学駅伝	琵琶湖西岸
12月下旬	納会	未定
2月下旬 or 3月上旬	春合宿	高知・春野
3/18 (日) , 19 (月)	第3回学連競技会	長居第2陸上競技場
3月	卒業生追い出しコンパ	未定

4.関西インカレ展望

関西インカレの目標や展望をパートごとにまとめました。なお、ランキングやタイムテーブル等は次号でお知らせいたします。

・ロードの部

日時 4月28日(木)午前10時

場所 長居公園周回

ハーフマラソンには修士1年の貝田、3年生の酒井、永元が出場します。貝田は酒井と並んで阪大長距離屈指の走り込み量を誇っており、ハーフマラソンのような距離の長い種目で力を発揮します。またその走り込み量から後半に強い選手でもあるので、当日は先頭集団から落ちてきた選手を確実に拾っていき入賞を果たしてほしいと思います。酒井は2部校のトップ選手と渡り合う実力を持っているので、集団の揺さぶりにたえ上位入賞し、関カレ最初のこの種目で阪大を盛り上げてくれると思います。永元はポテンシャルが高く非常に積極性のある選手です。当日も集団にしっかりついて行き、最後まで粘って上位に食い込むことを期待しています。京都大の山田、平井あたりは冬に好記録を出しているため、これらの選手をマークしてレースを進めることになると思います。

ハーフマラソン 申請タイムランキング				
順位	名前	学年	大学名	記録
1	中島 弘貴	4	滋賀大	1.06.52
2	藤原 風希	3	甲南大	1.08.41
3	平井 幹	2	京都大	1.08.53
4	荒川 凱斗	3	大阪経済大	1.08.57
5	酒井 健	3	大阪大	1.09.49
6	小山 裕之	M2	京都大	1.09.57
7	川村 亮	M1	大阪教育大	1.10.00
8	東 達也	3	神戸大	1.10.18
9	松下 良祐	2	大阪経済大	1.10.22
10	市橋 直之	3	甲南大	1.11.09
10000mの記録で申請した選手				
	J クアライ	4	奈良産業大	28.45.71
	佐古 諒介	4	佛教大	30.45.39
	加藤 龍	3	奈良産業大	31.16.00

・短短パート パート長、星野誠

【100m】

標準記録を突破している大家(M1)と今春最高タイムを出している来間(M1)が出場します。決勝進出のためには無風で10秒9程度のタイムを出す実力が必要だと予想されます。大家は研究室や卒論により多忙であったため、本格的な練習が3月からになってしまいましたが、遅れを急速に取り戻し、200mに関しては向かい風の中22秒2台を記録するまで復調させており、100mも期待できます。また来間に関しては、冬期には十分な練習を重ね、強力なスタートに加え、後半のスピード維持力も獲得しています。シーズン直後に自己ベストとなる11秒07を記録し、勢いもあるので、関西インカレでは更なる飛躍が期待できます。本種目は、決勝進出ラインが混戦になると予想されるので勝負をしっかりと制することがポイントとなるでしょう。

【200m】

標準記録を突破している大家と3回生の長野が出場します。大家は昨年の関西インカレで21秒88を記録しており、調子が戻れば21秒台も見えてきます。ベストかそれに近いタイムならば、十分得点が望めるので昇格争いを演じる大阪教育大学、京都大学、神戸大学等の選手との勝負を制することが重要です。また、長野は冬期にはパート内1とも言えるほどの練習を重ねています。今シーズンは未だ調子が上がってきてはいませんが、関西インカレで爆発する可能性は十分あります。練習では、大家と互角の走力を見せており、2人揃って決勝進出も不可能ではないと思うので、この種目を短短の得点源としたいところです。

【4×100mR】

現在の予定のオーダーは来間 - 長野 - 大家 - 田宮です。4走を走る田宮は1回生から徐々にタイムを伸ばし、今季もすぐにベストを更新し11秒1台まで伸ばしてきている勢いのある選手です。4継は、昨年からの優勝を目標に掲げています。昨年の記録を出せば十分優勝可能ではないかと考えられます。ただ、今年は大エース武田さんが抜け、また京大、神大をはじめ他大学のスプリント陣が強力であることを考えると優勝は容易なことではありません。4継はバトンによるプラス α が大きな種目なので、まずは4人がしっかりと確実にバトンを繋ぎ、 α も β もモノにできるよう十分なバトン練習を積み、勝負に臨みます。

【110mH】

島田(B3)が出場します。びわスポ大の1部昇格に伴い、2部の110mHは昨年に比べ、レベルが高くなく、島田がベストかそれに近いタイムで走ることが出来れば3~5点の得点が可能ではないかと予想されます。試合までに十分なハードル練習を重ね、堅実に得点してくれるのではないかと期待できます。

・短長 パート長、小間洋和

まず初めに、大阪大学陸上競技部を日ごろから応援してくださっている OB・OG の方々に感謝申し上げます。今年の関西 IC は 4 日連続の開催となり、なかなかお暇な時間を見つけられにくいとは思いますが、ぜひ足を運んでいただいで実際に試合をご覧になっていただければと思います。

出場選手は男子 400m に高橋勇理（3 年）、男子 400mH に藤原健（博士課程 2 年）と小間洋和（4 年）となっております。また、4×400mR のリレーメンバーには我々短長パート以外の選手からも数名起用し、当日の選手入れ替え制度も考慮に入れて最強のリレーチームを結成中です。1 年生から D2 まで、パートの枠と世代の枠を超えた阪大の総力を結集させて臨む今回の関西 IC では、我々トラックの部でどれだけ点数をもぎ取れるかということが勝利への引き金になっています。特に、男子は 2 部から 1 部へ昇格するという大きな目標があり、男子短長は確実に 10 点、さらに踏み込んで 12 点を取ることを目標にしています。冬季練習、春季合宿では耐乳酸トレーニングを初め、400m 走に特化した練習を行ってきました。今まで得たものを全て関西 IC にぶつけていこうと思いますので、応援の程よろしく願いいたします。

・ミドル パート長、安部勇輝

【800m】

M1 山田、4 回安部、2 回福地が出場します。昨年の関カレ 1 部 800m で 4 位の山田と今期 1' 55 台(PB)を出している安部でどれだけ点を稼ぐかがチームの 1 部昇格への大きな鍵となります。今年の 2 部 800m は摂南大、びわスポ大が 1 部へ上がったことでややレベルは下がりますが、総合得点争いをするであろう大阪教育大、京都大も力を入れてくる種目でもあり、気が抜けない戦いになるでしょう。2 回福地は今季 2' 01(PB)と現時点では得点圏に及ばないものの、阪大中距離でこの冬最も練習を積んでおり、こちらの活躍にも大いに注目していただきたく思います。

【1500m】

M1 山根、3 回松井、梅本が出場します。有力長距離選手が多く参戦してくる 2 部 1500m は今年もレベルが高く、3 分台の実力がなければ得点は難しい状況です。現時点での持ちタイムは左から 4' 02、4' 03、4' 08 ではあるものの、山根、松井は 3 分台の力を十分持っているため、初日種目のこの 1500m でなんとか 1 点をもぎ取ってチームのアドバンテージにしたいと思います。梅本も今期絶好調なので、関カレでの覚醒に期待がかかります。

・ ロング パート長、船戸敦

長距離種目は他の種目以上にランキングを覆しやすい種目であるので、ランキング上位であるからと油断せず、またランキング外だからといってネガティブに考えず、最後まで粘りの走りで得点を狙っていきたいと思います。また大阪経済大、奈良産業大に強力な選手が多数おり、これらの大学のエントリーがポイントになってくると思います。

【5000m】

3年生の酒井、松井が出場します。4月中盤から徐々に調子を上げてきた酒井は、先の大阪三大学ではレースのほとんどを引っ張っての圧勝で2連覇を果たしました。酒井の自己ベストはレベルの高かった昨年の大会でも7位に相当しており、このまま調子を上げていけば上位入賞も期待できると思います。松井は中距離選手ながら1カ月の走行距離は500kmを超えており、距離に対する不安は全くありません。持ち前の粘り強さと中距離選手ならではのスピードでランキングを覆し、阪大を盛り上げてくれると思います。また神戸大の山西、巖、京都大の小山など強力な選手もいるので、これらの選手との差も重要になってくると思います。

【10000m】

修士2年の木下、修士1年の山根、3年生の酒井が出場します。今年の冬十分に練習をつめた木下は春先の競技会で早速自己ベストに近い記録を連発しており、当日は自己ベストを更新しての上位にくい込むことが期待されます。山根は今大会1日目に1500、3日目に3000SC、そして4日目にこの10000mとなります。多種目出場の疲労から序盤は後方に位置していても、関西屈指のラストスパートで最後には8位以内でゴールしてくれると期待しています。酒井は前述のように調子は上がってきているので、実力を発揮すれば大量得点が十分に狙えます。2日前に走る5000mの疲労をどれだけ残さず10000mに臨めるかということもひとつのポイントとなると思われます。大阪教育大の川村、京都大の平井などには、1部昇格争いも考えるとしっかりと勝っておきたいと考えています。

【3000m 障害】

修士1年の山根、2年生の有本が出場します。昨年1部で4位に入賞した山根は、今年は研究が忙しく去年ほどの練習は積めていないもののその実力は健在で、入賞はもちろん、大量得点が狙えると思います。有本は冬はケガに悩まされましたが、最近では質の高い練習をこなせており自己ベストを更新しての上位進出が期待されます。

京都大の山田、大阪教育大の木下、川村などの選手にしっかりと勝ち、他校に差をつけることができると思います。

・ 競歩 パート長、田中達也

10000m 競歩には4回生の甲斐、3回生の田中、2回生の佐伯が出場します。甲斐は、3月に行われた日本学生20km競歩で10位に入るなど、現在急成長しています。トラックレースのタイムを基にしたランキングでは2位ですが、日本学生20km競歩の10km通過ではランキング1位に相当するタイムを記録しており、目標は優勝です。日本学生20km競歩で日本選手権の標準記録を突破した佐伯、今年日本選手権に出場した田中もランキングではそれぞれ4位、5位に相当し、上位入賞はもちろんのこと、優勝争いに絡んでくる可能性も十分にあります。

勝負の鍵になる選手はランキング1位の石飛（神大）、3位の笹谷（大経大）です。特に石飛との勝敗は昇格争いに直接影響するので、一人でも多く勝っておきたいところです。

競歩パートは一年前から表彰台独占という目標を掲げ、練習に励んで参りました。10000m競歩は気候の影響も受けやすい上に、「失格」という要素もあるため、最後まで何が起きるかわからない種目です。諦めずに粘り続け、この大きな目標を達成したいと思います。

・ 跳躍 パート長、滝川憲

【走高跳】

5回生の吉永、4回生の滝川、1回生の吉武が出場します。

エントリーしている選手の内、滝川が持ち記録2m08cmで単独トップに付けており、優勝が期待されます。吉永は10種競技もエントリーしており、きびしい競技日程となりますが、持ち前の勝負強さで1点でも多くもぎ取ってくれることでしょうか。1回生の吉武は大学デビュー戦です。

【棒高跳】

3回生の高橋、2回生の細田、1回生の宮崎が出場します。

高橋が持ち記録4m80で同率1位、細田も4m60cmと上位を狙える記録を持っています。1回生の宮崎は大学デビュー戦となります。最終日に行われるこの種目は、1部昇格へのライバル校である、大教大、京大にも有力選手が複数出場しており、この種目で他校に競り勝つことが、総合得点の争いでも非常に重要となります。

【走幅跳】

3 回生の西田が出場します。

学校枠での出場となります。先日の大阪三大学で 6m57cm を跳んでおり、順調に調子を上げています。ここ数年は 6m70cm までが得点圏内なので、当日はそこを目指して跳ぶこととなります。

【三段跳】

5 回生の勢力、3 回生の中野、村井が出場します。

勢力が 15m19cm、村井が 15m09cm、中野が 14m88cm の記録を持っており、2 部校の中では随一の層の厚さです。市大に 15m 後半の選手がおり、優勝こそは難しいものの、全員が表彰台を狙えるだけの実力を十分に持っています。大量得点が期待できる種目の 1 つで、前半戦の重要な種目となります。

・ 投擲 パート長、福井康大

投擲 4 種目で今年の関西インカレの標準記録を突破している選手は、砲丸投げで 3 回生の福井康大、やり投げで 1 回生の中澤密、ハンマー投げで修士 1 年の池田雄紀と 3 回生の武藤将大の 4 人です。投擲種目では種目によりレベルの差があり、砲丸投げとハンマー投げでの上位複数入賞が高得点を得るためのカギになってきます。また有望な新入生の加入によりさらなる得点が可能になりました。

【砲丸投げ】

砲丸投げには 3 回生の福井康大と 2 回生の鶴崎晋也が出場します。両者とも今シーズンにはまだ昨年度の自己ベストを越える記録は出していませんが、徐々に調子は上がってきています。先述したとおり、砲丸投げでは上位複数入賞が必須になり出場する選手も近い記録を持っているため、ひとつでも上の順位をとることが必要になります。

【円盤投げ】

円盤投げには 2 回生の鶴崎晋也が出場します。試合でのベストは 33m15 で、得点争いに加わるには大幅な自己ベスト更新が必要になってきますが、練習では自己ベスト記録を遥かに越える投擲を何度もしており、活躍が期待できます。

【やり投げ】

やり投げには3回生の福井康大と1回生の中澤密が出場します。福井は実力的には得点するのは厳しいですが、調子は上がってきているので自己ベストの更新が期待できます。中澤は超大型ルーキーで、先日行われた大阪三大学対校戦にて60mを越える自己ベスト記録をたたきだしました。関西インカレではランキング1位の選手はずば抜けており優勝は厳しいですが、表彰台にはあがれる実力はあり、期待できます。

【ハンマー投げ】

ハンマー投げには修士1年の池田雄紀と3回生の武藤将大、1回生の崎勤太郎が出場します。池田は研究室で忙しく練習を積めていない状況ですが、実力的にはかなり上位に食い込めると思います。武藤は最近徐々に調子を上げてきており、表彰台も狙えるでしょう。崎は1回生ですが、練習ではなかなかの投擲をしており、得点争いは難しいでしょうが他の2人のつくる流れにのって良い投擲をしてくれるでしょう。

・ 混成競技 関原孝之

6回生関原と5回生吉永が出場します。関原は今シーズンなかなか調子が上がらず昨シーズンの勢いを取り戻せずにいましたが、ここにきてようやくスプリントの復調の兆しを見せており、自己ベストの更新と上位進出が期待されます。吉永は昨シーズンから投擲種目にも取り組むなど混成参戦に向けて準備を進めてきており、先の大阪インカレでは標準突破こそならなかったものの確実な試合運びを見せました。2日目種目の改善次第では上位進出は十分に可能です。本番では2人入賞かつ混成の部優勝を目指し、前半2日間を盛り上げます。

2部の優勝候補本命は大阪産業大の濱田であり、彼の優位は動かないと思われます。阪大の2人は現状2番手の大阪教育大の福永に迫れるかが対校得点の上からもポイントとなってくると考えられます。3位以下は阪大の2人を含め混沌としており、ランキング下位の選手に足元をすくわれないということも重要になってくるでしょう。

・女子短距離、フィールド 女子主将、絹岡なずな

短距離

【100m】

無条件枠を利用して絹岡(4)が出場します。踵の怪我の経過が思わしくない中で自己ベストには至らないものの昨シーズンベストはすでに更新しており、あとは怪我の完治とベスト更新が待たれるのみです。昨シーズンよりは400mより100mに重点をおいたシーズンとなるため、ここで好記録を出して七帝戦への勢いが欲しいところです。

【200m】

無条件枠を利用して牛山(3)が出場します。快調だった一昨年に比べるとやや見劣りした昨シーズンでしたが、それを払拭するような走りを期待したいです。先日の大阪三大戦の4×200mRでは好調なパフォーマンスを見せており、期待が高まっております。専門種目ではないものの、昨シーズンは叶わなかった関カレ標準記録突破も十分に可能でしょう。

【400m】

標準突破者として牛山(3)が、無条件枠を利用しては中(1)が出場します。牛山は今シーズンの滑り出しとしては本人は若干不満のようでしたが、それでも1分ゼロ台を出しており、また100mの記録も好調であることから好記録が期待できそうです。ベスト更新ができれば予選突破も見えてきます。また無条件枠では1回生の中が出場します。1回生のデビュー戦は大半が5月末の阪名戦ですが400mの枠が空いていること、本人の意欲が高いことを考慮しての出場となります。まだ未知数な部分は多いですがここで場数を踏み、七帝戦に備えたいところです。

【4×100mR】

昨シーズンから戦ってきた絹岡(4)、宮崎(4)、牛山(3)、川守田(3)でバトンを繋ぎます。まだ大阪インカレの1試合しかこなせておらず記録も未知数ですが、各選手調子は悪くなく、また各々バトンにかける想いは相当なものがあるのでベストに近い記録は出ると思います。澤村が抜けた穴を宮崎含む4人全員でしっかりと埋める、否、それ以上のパフォーマンスを期待されます。

【4×400mR】

正選手はまだセレクション前なので決まってはいませんが、牛山(3)、絹岡(4)、宮崎(4)はほぼ確定なので、あとの一枠を益岡(4)、澄川(4)、川守田(3)、平川(2)、で争うこととなります。平川は先日の大阪三大戦で800mの優勝を勝ち取っており、周囲の期待も高まっています。数少ないマイルリレーを走る機会なので存分に走り、楽しみたいです。

フィールド

【走幅跳】

無条件枠を利用して柴田(4)が出場します。昨シーズンは終わりがけに自己ベストを30cmほど更新する大躍進を見せており、七帝戦ポイント獲得を目標とした練習を順調に積んできています。今シーズンの出だしでは少し躓いていますがそれは本人の走力の増強に踏み切りの感覚が付いてきていないからだと思われ、全体的に底力はあがってきています。ダイナミックな跳躍を期待したいです。

【三段跳】

無条件枠を利用して宮崎(4)が出場します。留学に行っていた間の大きなブランクも驚異のスピードで埋めてきており、走力に関してはリレーメンバーのレギュラーのポジションはすでに盤石です。跳躍面でもすでに4m73をマークしており、そろそろ5mジャンパーの地位に返り咲くころでしょう。今回は数少ない女子三段跳びがある試合ということでこちらに出場しますが、NMだけは避けたいところです。

【砲丸投】

数年ぶりの投擲パートの女子選手、小西(2)が無条件枠を利用して出場します。専門はやり投げで砲丸投は初心者でしたが冬季～春にかけて猛練習を積み、2mほど一気に記録を伸ばしてきています。今シーズンすでに7m64の自己ベストをマークしており、滑り出しは順調です。8mも十分圏内で本人の意欲も高く、記録が期待されます。

【やり投げ】

砲丸投げと同じく小西(2)が出場します。途中入部のハンディはもうすでにすっかり払拭しており、感覚も戻ってきているようです。届きそうで届かない30mもきっと超えてくれることでしょう。今シーズンはまだ本人的には「全然だめ」らしいですが実力や筋力は十分ついてきているのでこちらも期待できそうです。

・女子ミドル、ロング 女子ファミリー長、益岡ゆき

出場種目と選手は以下の通りです。

800m…平川(2)

1500m,5000m…益岡(4)

800m は、ミドルから平川が昨年に引き続き出場します。冬季練習を順調にこなし、今シーズンは大学ベストとほぼ同じタイムを安定して出しているため、自己ベスト(2' 26)の更新が期待されます。序盤から積極的にレースをすることが持ち味で、強豪選手の胸を借りてどこまで記録を伸ばせるかが楽しみです。

1500m と 5000m はロングから益岡が出場します。1500m は、序盤のハイペースにくらいつき、4' 50" を切ることが目標です。5000m は、冬季に距離を踏んできた成果を出せるかどうか楽しみで、前半から積極的に走り 18 分を切ることを目標としています。残念ながら、今年の中距離女子では関西インカレ標準記録突破者がおらず、各種目 1 名ずつ学校卒での出場となります。標準記録を突破した他校の選手との力の差は大きいですが、物怖じすることなく全力で挑戦し、私たちの強くなるための糧としていきたいと思っています。

5.主な試合結果

第 59 回大阪学生陸上競技対校選手権大会

平成 23 年 4 月 5 日(火)・6 日(水) 長居第 2 陸上競技場

[男子]

<100m>

長野 良哉 (工 3) (予) 11"41 (-1.5)
西井 聡志 (工 2) (予) 11"75 (-1.5)
来間 亮太 (理 4) (予) 11"39 (-0.8)

<200m>

出口 大幹 (工 2) (予) 22"98 (+0.3)
山田 遼作 (医 2) (予) 22"81 (+1.2)
(準) 23"04
山本 尚季 (工 2) (予) 22"96 (+1.2)

<400m>

高橋 勇理 (法 3) (予) 50"62
小間 洋和 (理 4) (予) DNS
神谷 迪郎 (人 3) (予) DNS

<800m>

安部 勇輝 (工 4) (予) 1'57"76
松井 健太 (基 3) (予) 2'03"13
福地 良樹 (法 2) (予) 2'02"83

<1500m>

松井 健太 (基 3) (夕決) 4'03"88
梅本 和海 (法 3) (夕決) 4'08"18
田邊 邦裕 (法 3) (夕決) 4'20"82

<5000m>

酒井 健 (基 3) (夕決) 15'32"13
西村 太志 (薬 3) (夕決) 15'46"55
永元 雄宙 (基 3) (夕決) 16'06"88

<10000m>

廣瀬 正典 (基 3) (決) 34'25"94
灰谷 知純 (人 4) (決) DNS
船戸 淳 (工 4) (決) DNS

<110mH>

上田 智広 (基 4) (予) 16"54 (+1.4)
島田 勇毅 (医 4) (予) DNS

<400mH>

細川 雅弘 (工 2) (予) 1'00"75
小間 洋和 (理 4) (予) DNS
奥野 晃弘 (工 2) (予) DNF

<3000mSC>

山根 裕樹 (M 1) (夕決) 9'39"48
有本 啓 (基 2) (夕決) DNS
藤田 達郎 (軽 2) (夕決) DNS

<4 x 100mR>

大阪大 (来間—長野—山田—出口)
(予) 42"40 (決) 42"65

<4 x 400mR>

大阪大 (山田—高橋—出口—上田)
(予) 3'27"45

<走高跳>

滝川 憲 (法 4) (決) 1m95
村井 伸行 (工 3) (決) DNS
吉永 光宏 (医 5) (決) DNS

<棒高跳>

高橋 遼 (工3) (決) 4m60
細田 真広 (工2) (決) 4m20

<走幅跳>

中野 翔 (外3) (決) 6m12 (-0.6)
中村 洋文 (工2) (決) 6m08 (+0.9)
酒井 政宏 (工2) (決) DNS

<三段跳>

出口 政孝 (基4) (決) 13m74 (-0.3)
勢力 薫 (薬5) (決) 14m63 (-0.7)
中野 翔 (外3) (決) DNS

<砲丸投>

福井 康大 (工3) (決) 11m78
武藤 将大 (外3) (決) 9m63
鶴崎 晋也 (基2) (決) 10m92

<円盤投>

福井 康大 (工3) (決) 30m12
鶴崎 晋也 (基2) (決) 33m15
徳永 卓朗 (理2) (決) 30m55

<ハンマー投>

武藤 将大 (外3) (決) 40m80
鶴崎 晋也 (基2) (決) 30m13

<やり投>

中野 翔 (外3) (決) 44m77
福井 康大 (工3) (決) 46m29
徳永 卓朗 (理2) (決) DNS

[男子オープン]

<十種競技>

吉永 光宏 (医5) 5228点
100m 11"82 (+1.1) 687点
走幅跳 6m30 (+1.5) 652点
砲丸投 8m44 392点
走高跳 1m80 627点
400m 54"23 630点
110mH 17"88 (+0.5) 536点
円盤投 25m49 377点
棒高跳 2m80 309点
やり投 40m56 450点
1500m 4'58"60 568点

関原 孝之 (医6) 5302点

100m 12"05 (+0.1) 641点
走幅跳 6m03 (+1.5) 593点
砲丸投 9m52 457点
走高跳 1m65 504点
400m 54"03 638点
110mH 17"96 (+0.2) 528点
円盤投 27m99 425点
棒高跳 3m10 381点
やり投 47m25 548点
1500m 4'55"36 597点

[女子]

<100m>

絹岡なずな (文4) (予) 13"26 (+0.8)

<200m>

牛山 綾 (外3) (予) 26"59 (-0.2)

<400m>

牛山 綾 (外3) (予) 1'00"06
(決) 1'03"51

<800m>

澄川美穂子 (医4) (予) 2'36"35

浅野 恵海 (外2) (予) 2'34"34

平川 菜央 (人2) (予) 2'30"89

<1500m>

益岡 佑季 (医4) (夕決) 5'02"75

浅野 恵海 (外2) (夕決) 5'19"86

平川 菜央 (人2) (夕決) 5'08"33

<5000m>

益岡 佑季 (医4) (決) 18'45"26

<4 x 100mR>

大阪大 (絹岡—牛山—宮崎—川守田)
(決) 50"98

<走幅跳>

柴田久美子 (外4) (決) 4m42 (-1.0)

宮崎 福美 (外6) (決) NM

<砲丸投>

小西 由夏 (理2) (決) 7m01

<やり投>

小西 由夏 (理2) (決) 26m61



写真：3000mSCで2位になった山根 (M1)

第56回大阪三大学対校陸上競技大会

平成23年4月16日(土) 金岡公園陸上競技場

[男子対校の部]

<100m> (+0.5)

田宮 直樹 (法4) 11"23 5位
 長野 良哉 (工3) 11"27 6位

<400m>

高橋 勇理 (法3) 50"49 4位
 小間 洋和 (理4) 51"34 6位

<1500m>

松井 健太 (基3) 4'05"60 2位
 山根 裕樹 (M1) 4'11"97 5位

<5000m>

酒井 健 (基3) 15'15"00 1位
 西村 太志 (薬3) 15'46"86 6位

<4x200mR>

大阪大 (長野-大家-山田-山本)
 1'28"79 2位

<走高跳>

滝川 憲 (法4) 2m00 1位
 吉永 光宏 (医5) 1m85 4位

<走幅跳>

西田 拓展 (基3) 6m57 (-0.1) 4位
 中野 翔 (外3) 6m29 (-0.3) 6位

<三段跳>

中野 翔 (外3) 14m18 (+1.1) 4位
 村井 伸行 (工3) 13m51 (+2.5) 5位

<砲丸投>

福井 康大 (工3) 11m69 2位
 鶴崎 晋也 (基2) 11m31 3位

<円盤投>

鶴崎 晋也 (基2) 31m19 1位
 福井 康大 (工3) 30m25 2位

<やり投>

中澤 密 (基1) 60m31 1位
 福井 康大 (工3) 46m41 2位

[女子対校の部]

<100m>

牛山 綾 (外3) 12"99 1位 NGR
 絹岡なずな (文4) 13"26 2位

<800m>

平川 菜央 (人2) 2'28"54 1位
 澄川美穂子 (医4) 2'36"07 4位

<3000m>

益岡 佑希 (医4) 10'48"45 1位
 浅野 恵海 (外2) 11'37"37 4位

<4x200mR>

大阪大 (絹岡-牛山-宮崎-川守田)
 1'55"68 2位

<走幅跳>

宮崎 福美 (外6) 4m73 (+0.3) 3位
 柴田久美子 (外4) 2m93 (+1.3) 4位

<砲丸投>

川守田 優（外3） 7m73 2位

小西 由夏（理2） 7m64 3位

男子総合結果

	大阪大学	大阪市立大学	大阪府立大学
トラック得点	24	37	32
トラック順位	③	①	②
フィールド得点	49	35	42
フィールド順位	①	③	②
総合得点	73	72	74
総合順位	②	③	①

女子総合結果

	大阪大学	大阪市立大学	大阪府立大学
トラック得点	19	7	10
トラック順位	①	③	②
フィールド得点	8	12	0
フィールド順位	②	①	③
総合得点	27	19	10
総合順位	①	②	③

6.近日中の試合

- ・4/28（木） 関西インカレ・ロードの部 [長居公園周回]
- ・5/12（木）～15（日） 関西インカレ [長居第2陸上競技場]
- ・5/28（土） 阪名戦 [知多陸上競技場]

7.次号発行予定

次回の満天 LETTER の発行は号外として5月上旬に関西インカレのランキングやロードの部の結果報告を掲載する予定です。

8.その他

阪大陸上部公式ホームページについて

試合結果、最新の部員名簿などは公式ホームページにも掲載しておりますので、よろしければそちらもご覧ください。また、OB掲示板も開設しております。情報交換の場として大いにご活用ください。

公式ホームページ <http://www.osaka-u-athlete-club.com/>

OB掲示板 <http://hidebbs.net/bbs/mantenkai>

記載内容についてのご意見、また配信停止をご希望等ありましたら

松崎通弘（工・応自3） manten.letter2010@gmail.com

までご連絡ください。

満天LETTER 2011年4月号

発 行 大阪大学陸上競技部

大阪府豊中市待兼山1-1

発 行 日 平成23年4月25日

編集責任者 松崎 通弘
高橋 遼